

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

中田しらゆり地域は、古くから地域活動が活発な地域です。長後街道の沿線は平成11年の市営地下鉄開通と長後街道の拡張工事により都心への通勤圏となり、子育て世代など若い新住民が増加しています。それにあわせて子育て支援の需要が増加し、また新住民が町内会をはじめとした地域組織にいかにもスムーズに溶け込むことが出来るかが課題となっています。一方で葛野地区周辺やしらゆり地区など幹線道路から遠い地域は、高齢化が進んでいます。特にしらゆり地域は団地を除いて泉区で一番高齢化が進んでおり、また坂が多く閉じこもりやすい地形ということもあり、介護予防や支援が必要な高齢者の早期発見が課題です。

中田地区で地域福祉推進委員会が、しらゆり地区でしらゆり助っ人隊(SST)が組織されるなど、地域の高齢者に対する生活支援活動が活発になっています。2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響で地域活動の自粛が続く、地域活動が停滞しているとともに、これまで行ってきた様々な活動が3密となってしまうため、コロナ禍の状況に適応した新しい地域活動の検討が必要となっています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	リニューアルしたwebサイト「中田白百合地域情報サイト」を活用した積極的な情報発信を行う。 また、併設される中田地区社協のホームページの作成支援を行う。
■	<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルスの感染対策として三密を避けた事業やインターネット等を活用した事業の検討実施する。
<input type="checkbox"/>	■	ケアプラザ全職員を対象とした研修を年3回実施する。その内1回については人権研修を行う。
■	<input type="checkbox"/>	シニアレポーター養成講座を開講し、同世代の目線で必要な情報を発信できるようにする。
<input type="checkbox"/>	■	薬局、商店、公共交通機関等、高齢者と関わりが深い機関にあらためて包括支援センターの周知を図るとともに、必要時連携が取れるよう、関係性の構築を図る

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

昨年度に引き続き、自主事業や貸館事業は、新型コロナウイルスの流行の影響を大きく受けました。地域活動自体が減少してしまっているため、リニューアルした中田白百合地域情報サイトも大々的に活用するには至っていません。その中でも中田地区社会福祉協議会のホームページは順調にスタートしています。

新型コロナの感染予防を意識し、屋外で行う事業と、ICTを活用した事業を推進しました。屋外事業としては、これまで行っていた親子野菜体験塾やそば打ち講座に加え、地域の農家から畑を借りて芋ほり会を行っています。ICTの活用としては、体操や講座のZOOM活用やスマートフォン講座を行いました。

コロナ禍によりケアプラザで活動していた団体、ボランティアともに減少してしまっています。地域活動の現状を把握するとともに改めて地域活動、ボランティア活動の担い手が増えるよう事業を企画したいと思っています。

区からのコメント

・コロナ禍により事業展開が難しい面もあったと思いますが、第4期の地区別計画をふまえ、屋外事業や手の届きにくい学齢期の子ども支援について新たな展開がみられるなど積極的に取り組んでいます。引き続き、強みである地域情報等の発信力に期待するとともに、身近な相談窓口として地域の課題解決に取り組んでください。

・ケアプラザエリア内にあるサービスB(横浜市介護予防・生活支援サービス事業)の2団体と良好な関係作りを行うことができています。次年度は区内で初めてになるサービスBの配食サービスも開始しますので、ぜひサービスを必要とする方に情報が届くよう包括支援センターと連携して事業を進めて頂くことを期待しています。

・認知症カフェ2か所の創設支援、小学校での認知症サポーター養成講座の計画、キャラバン・メイト連絡会の開催と支援、協力医と連携した認知症講演会の開催等、認知症関連事業の推進に尽力しました。また、介護者懇談会の開催やACP・成年後見制度の講座、在宅医療相談室と連携した研修や講座の企画など、各事業ごとに幅広い展開が行われています。オンライン研修やチラシやブログ等の工夫など、コロナ禍における柔軟な対応力で日々の業務を推進し、ノウハウを構築できました。来年度も、同行訪問等により、関係機関との顔の見える関係の継続をお願いします。

令和3年度踊場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	居宅支援事業所や介護サービス事業所を紹介する際、ホームページ等の事業者一覧を活用しご相談者に複数の選択肢を示し、最終的には判断ができるよう努めます。また特定の事業所に偏ることがないように、地域の事業所と連携を取っていきます。	全職員を対象にした人権研修を開催します。また、個人情報保護については、各事業で研修を行い徹底を図ります。 職員による施設危険箇所点検を行い、危険箇所の発見と改善を図ります。 通所介護では、毎月職員会議にてヒヤリハット報告を行い事故の可能性を職員で共有します。
実績	上記の通り、相談業務を行うことが出来ました。事業所の変更を希望する相談については、ご相談者のご意向を聞き取ったうえ、ホームページ等を活用し新しい事業者を紹介し、サービスが途切れないように調整しました。	新型コロナウイルスの感染予防のため、集合研修は行わず、動画等を活用した研修を行いました。内容としては、災害時の対応(BCP)やパワーハラスメントの研修を行っています。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	情報提供や相談支援を通じて、委託先の居宅介護支援事業所においても基本的な考え方が一致した介護予防ケアマネジメントを実施することができている。	自立支援に資するケアプラン作成を行い、専門性の高い相談援助を行います。
職員体制	包括3職種 5名 介護予防プランナー 1名	主任介護支援専門員1名 介護支援専門員 3名
契約者数	297人	119人

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	ご利用者さまの口腔機能向上を推進します。		ご利用者様一人一人に寄り添った個別対応の介護を提供します
実施体制	【実施日数】 358日 【提供時間】 9:25～16:30 【定員】 通所介護37名(1号通所介護含む)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 358日 【提供時間】 9:25～16:30 【定員】 11名
利用料金・実費負担	食事代 1食780円		食事代 1食780円
職員体制	生活相談員6名 介護員18名 看護師4名 歯科衛生士1名 管理栄養士1名 その他10名		左と兼務
契約者数等	【延べ利用者数】 9796人 【契約者数】 107人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】2932人 25人

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ケアマネ連絡会	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャー同士の情報交換、研修、事例検討の機会を作る。	6:事業者		ケアマネジャーのスキルアップのため、研修、事例検討、情報交換を定期的に行う。区内包括合同開催も含め、基本月1回開催。		
2	介護者講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の方へ、介護や福祉用具のことに ついて情報提供を行う。	5:地域		紙オムツの事業所や福祉用具の事業所から、選び方や種類などを講話していただく。 6月:オムツの種類・選び方講座 7月:福祉用具の種類について		
3	介護者懇談会	平成14年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者同士の交流の場作り。	5:地域		介護者同士の交流を通じて、情報交換や仲間作りができ介護の負担軽減ができるようにする。 基本:月1回（第1水曜日）		
4	終活セミナー		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	将来のことを自己選択・決定ができるように、 老い仕度、終活のことを考えてもらい、 エンディングノートの作成のきっかけを作る。	5:地域		専門家に相続、遺言、成年後見制度について講話してもらい、終活のことを考えてもらう。 11月頃に連続講座として企画予定。		
5	シニアレポーター養成講座		7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地縁の少ない方でも出かけられ、地域の中で生きがいや役割を持てるきっかけを作る。	5:地域		シニアレポーター養成講座を開催し、同世代の目線で必要な情報を発信できるようにする。		
6	ACP(人生会議)講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	もしものときのために、ターミナル期の望む医療やケアのあり方について考えてもらうきっかけを作る。	5:地域		訪問診療を行う訪問医を講師に迎え、終末期のあり方について事例等を交えて講話いただく。(CM連絡会と共催)		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	麻雀サロンたまりば	平成 19年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	比較的利用の少ない、夕方の時間帯を活用し、男性の社会参加を目指した活動	5:地域		「飲まない吸わない賭けない」をフレーズに、夕方の時間帯地域の方がどなたでも参加できるようにした麻雀サロン。月2回開催	0	0
8	おどりば青年隊	平成 18年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学校卒業～22歳の知的障がい児の余暇支援と地域ボランティアとの交流	2:障害児・者		月1回開催。高校～22歳の知的障がい児とボランティアが集まり昼食を作って食べる。食材の買い出しから片付けまでを行う	0	0
9	緑の会やまぼうし	平成 19年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	泉区と合同で行った団塊世代パワーのいずみ事業「定年からの園芸講座」のOB会。ケアプラザの植栽を一部管理するとともに、プラザの行う様々な園芸事業のボランティアを担っている	5:地域		毎月1回集まり、主にケアプラザ3階の庭園管理と野菜作りを行っている。野菜作り体験塾や障害者作業所の畑ボランティアなどを行う。	11	22
10	すずらん	平成 12年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者の健康維持・介護予防	1:高齢者		月2回。高齢者を対象としたフラダンス教室。一般のフラダンス教室と異なり、虚弱な高齢者にも配慮を行い同じ曲を練習する、練習のあとお茶会をするなど、運動だけではなく社会交流も即する内容。	0	0
11	仕事がんばり隊	平成 22年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	成人知的障がい者の居場所づくり	2:障害児・者		寺子屋・青年隊を卒業したメンバーを中心に、作業所などで働く知的障がい者の余暇支援事業。まだメンバーが少ないが将来的には本人会を目指している。		
12	親子野菜作り体験塾	平成 19年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	野菜づくりを通して、子どもや子育て中の親など若い世代と農家や地域ボランティアとの交流を行う。泉区の産業である農業を理解してもらう。食育など	4:子ども・青少年		地域の農家より土地を提供していただき、地域の小学校に通う子どもとその保護者が野菜づくりを行う。8月～12月、全8回の予定	10	387

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	歌うチャージング体操	平成26年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者の健康維持・介護予防・認知症予防	1:高齢者		第2第4火曜日14時半～15時半	22	534
14	おどろば体験Kids'	平成 26年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の森(中田の森)で小学生を対象とした、自然や科学を体験し楽しく学べる場	4:子ども・青少年		年に1回、夏休み企画	0	0
15	みんなで歌おう会	平成 26年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	歌を通じた仲間作り	5:地域		月1回開催。	1	25
16	とことんそば打ち	平成29 年度～	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	畑作業、そば打ちを通し、閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくり	5:地域		とことん自分のそばに拘り、自分のそばを作るために畑での種まきから始める。	10	121
17	陶芸教室	令和元年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がい理解、地域の作業所の周知	5:地域		講座など、年4回予定	0	0
18	音楽療法アロエの会	令和元年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽療法士による、認知症予防、介護予防含めた地域の仲間づくり	5:地域		8月お試し版、10月～月一回開催。	0	0

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ケアマネ連絡会	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャー同士の情報交換、研修、事例検討の機会を作る。	6:事業者		ケアマネジャーのスキルアップのため、研修、事例検討、情報交換を定期的に行う。区内包括合同開催も含め、基本月1回開催。	8	225
2	介護者講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の方へ、介護や福祉用具のことに ついて情報提供を行う。	5:地域		紙オムツの事業所や福祉用具の事業所から、選び方や種類などを講話していただく。 6月:オムツの種類・選び方講座 7月:福祉用具の種類について	2	13
3	介護者懇談会	平成14年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者同士の交流の場作り。	5:地域		介護者同士の交流を通じて、情報交換や仲間作りができ介護の負担軽減ができるようにする。 基本:月1回（第1水曜日）	10	48
4	終活セミナー		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	将来のことを自己選択・決定ができるように、 老い仕度、終活のことを考えてもらい、 エンディングノートの作成のきっかけを作る。	5:地域		専門家に相続、遺言、成年後見制度について講話してもらい、終活のことを考えてもらう。 11月頃に連続講座として企画予定。	2	18
5	シニアレポーター養成講座		7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地縁の少ない方でも出かけられ、地域の中で生きがいや役割を持てるきっかけを作る。	5:地域		シニアレポーター養成講座を開催し、同世代の目線で必要な情報を発信できるようにする。		
6	ACP(人生会議)講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	もしものときのために、ターミナル期の望む医療やケアのあり方について考えてもらうきっかけを作る。	5:地域		訪問診療を行う訪問医を講師に迎え、終末期のあり方について事例等を交えて講話いただく。(CM連絡会と共催)	1	39

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	麻雀サロンたまりば	平成 19年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	比較的利用の少ない、夕方の時間帯を活用し、男性の社会参加を目指した活動	5:地域		「飲まない吸わない賭けない」をフレーズに、夕方の時間帯地域の方がどなたでも参加できるようにした麻雀サロン。月2回開催		
8	おどりば青年隊	平成 18年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学校卒業～22歳の知的障がい児の余暇支援と地域ボランティアとの交流	2:障害児・者		月1回開催。高校～22歳の知的障がい児とボランティアが集まり昼食を作って食べる。食材の買い出しから片付けまでを行う		
9	緑の会やまぼうし	平成 19年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	泉区と合同で行った団塊世代パワーのいずみ事業「定年からの園芸講座」のOB会。ケアプラザの植栽を一部管理するとともに、プラザの行う様々な園芸事業のボランティアを担っている	5:地域		毎月1回集まり、主にケアプラザ3階の庭園管理と野菜作りを行っている。野菜作り体験塾や障害者作業所の畑ボランティアなどを行う。		
10	すずらん	平成 12年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者の健康維持・介護予防	1:高齢者		月2回。高齢者を対象としたフラダンス教室。一般のフラダンス教室と異なり、虚弱な高齢者にも配慮を行い同じ曲を練習する、練習のあとお茶会をするなど、運動だけではなく社会交流も即する内容。		
11	仕事がんばり隊	平成 22年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	成人知的障がい者の居場所づくり	2:障害児・者		寺子屋・青年隊を卒業したメンバーを中心に、作業所などで働く知的障がい者の余暇支援事業。まだメンバーが少ないが将来的には本人会を目指している。		
12	親子野菜作り体験塾	平成 19年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	野菜づくりを通して、子どもや子育て中の親など若い世代と農家や地域ボランティアとの交流を行う。泉区の産業である農業を理解してもらう。食育など	4:子ども・青少年		地域の農家より土地を提供していただき、地域の小学校に通う子どもとその保護者が野菜づくりを行う。8月～12月、全8回の予定		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	歌うチャージング体操	平成26年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者の健康維持・介護予防・認知症予防	1:高齢者		第2第4火曜日14時半～15時半		
14	おどりば体験Kids'	平成 26年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の森(中田の森)で小学生を対象とした、自然や科学を体験し楽しく学べる場	4:子ども・青少年		年に1回、夏休み企画		
15	みんなで歌おう会	平成 26年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	歌を通じた仲間作り	5:地域		月1回開催。		
16	とことんそば打ち	平成29 年度～	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	畑作業、そば打ちを通し、閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくり	5:地域		とことん自分のそばに拘り、自分のそばを作るために畑での種まきから始める。		
17	陶芸教室	令和元年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がい理解、地域の作業所の周知	5:地域		講座など、年4回予定		
18	音楽療法アロエの会	令和元年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽療法士による、認知症予防、介護予防含めた地域の仲間づくり	5:地域		8月お試し版、10月～月一回開催。		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	デニスホップ	令和2年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染防止対策として、図書館や地区センターなどの自習スペースが使えず、学習場所を失った児童生徒に対して、学習スペースとしての活用と大学生ボランティアによる個別での学習支援事業。	4:子ども・青少年		参加者はケアプラザから、大学生は自宅からリモートで教材を共有しながらの学習ボランティア事業。毎週火木17時～19時半		
20	スマホ講座	令和3年度～	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	スマートフォンの使い方や注意すべき点などを啓発し、仲間づくりや外出機会増加などを旨とする。	1:高齢者		月1回程度を目途に定期的開催。		
21	スマホ活用講座 (リモート編)	令和3年度～	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	スマホを使い、Zoomでつながること、防犯情報を取得したり、介護予防活動ができるようにする。 (リモート+会場開催)	5:地域		コロナ禍により、講座開催も人数制限がある。①Zoomにつながる事、②防犯講話、③スローエアロビクス 家からスマホ(Zoom)でつながり参加をしてもらおうきっかけ作り。	3	47

令和3年度「横浜市踊場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,111,000	1,169,158	17,280,158	17,280,158	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	460,500		460,500	249,500	211,000	
雑入	0	0	0	25,530	△ 25,530	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	25,530	△ 25,530	
その他	3,990,000		3,990,000		3,990,000	
収入合計	20,561,500	1,169,158	21,730,658	17,555,188	4,175,470	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,537,500	0	12,537,500	12,164,489	373,011	
本俸	6,637,500		6,637,500	7,599,044	△ 961,544	
社会保険料	1,300,000		1,300,000	934,360	365,640	
手当計	3,500,000		3,500,000	3,293,123	206,877	
健康診断費	500,000		500,000	55,952	444,048	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	300,000		300,000	0	300,000	
その他	300,000		300,000	282,010	17,990	
事務費	1,300,000	0	1,300,000	1,083,086	216,914	
旅費	30,000		30,000	77,272	△ 47,272	
消耗品費	390,000		390,000	170,119	219,881	
会議賄い費	70,000		70,000	20,000	50,000	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	70,000		70,000	190,359	△ 120,359	
使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	0	300,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他	300,000		300,000	0	300,000	
備品購入費	10,000		10,000	0	10,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	0	30,000	
職員等研修費	60,000		60,000	2,000	58,000	
振込手数料	140,000		140,000	92,461	47,539	
リース料	30,000		30,000	0	30,000	
手数料	110,000		110,000	0	110,000	
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	
その他			0	530,875	△ 530,875	
事業費	500,000	0	500,000	494,249	5,751	
運営協議会経費	40,000		40,000	0	40,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	460,000		460,000	494,249	△ 34,249	
その他			0	0	0	
管理費	5,750,000	0	5,750,000	5,230,913	519,087	
光熱水費	2,428,000		2,428,000	1,702,615	725,385	
清掃費	1,450,000		1,450,000	2,123,483	△ 673,483	
機械警備費	300,000		300,000	300,744	△ 744	
設備保全費	700,000	0	700,000	376,174	323,826	
空調衛生設備保守	400,000		400,000	330,916	69,084	
消防設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
電気設備保守	100,000		100,000	45,258	54,742	
害虫駆除清掃保守	100,000		100,000	0	100,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費	872,000		872,000	280,305	591,695	
その他			0	447,592	△ 447,592	
修繕費	474,000		474,000	1,698,158	△ 1,224,158	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,561,500	0	20,561,500	20,670,895	△ 109,395	
差引	0	1,169,158	1,169,158	△ 3,115,707	4,284,865	

自主事業費 収入		0	0	249,500	△ 249,500	
自主事業費 支出		0	0	494,249	△ 494,249	
自主事業 収支	0	0	0	△ 244,749	244,749	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「踊場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	34,944,000	0	34,944,000	34,944,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	129,000	△ 129,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	2,454,500	0	2,454,500	12,000	2,442,500	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他	2,454,500		2,454,500	12,000	2,442,500	
その他			0	0	0	
収入合計	43,354,500	0	43,354,500	41,041,000	2,313,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,742,500	0	38,742,500	32,310,501	6,431,999	
本俸	20,000,000		20,000,000	18,305,884	1,694,116	
社会保険料	5,500,000		5,500,000	4,031,637	1,468,363	
手当計	12,000,000		12,000,000	8,690,513	3,309,487	
健康診断費	70,000		70,000	68,727	1,273	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	0	500,000	
その他	672,500		672,500	1,213,740	△ 541,240	
事務費	1,902,000	0	1,902,000	1,462,894	439,106	
旅費	50,000		50,000	60,279	△ 10,279	
消耗品費	602,000		602,000	348,540	253,460	
会議賄い費	60,000		60,000	9,301	50,699	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	300,000		300,000	316,452	△ 16,452	
使用料及び賃借料	240,000	0	240,000	0	240,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他	240,000		240,000	0	240,000	
備品購入費	20,000		20,000	0	20,000	
図書購入費	40,000		40,000	0	40,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	0	50,000	
職員等研修費	30,000		30,000	72,900	△ 42,900	
振込手数料	50,000		50,000	25,020	24,980	
リース料	10,000		10,000	0	10,000	
手数料	40,000		40,000	0	40,000	
地域協力費	400,000		400,000	0	400,000	
その他			0	630,402	△ 630,402	
事業費	1,084,000	0	1,084,000	783,779	300,221	
協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	268,496	△ 168,496	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	200,000		200,000	67,283	132,717	
その他			0	0	0	
管理費	1,500,000	0	1,500,000	1,390,490	109,510	
光熱水費	570,000		570,000	452,593	117,407	
清掃費	400,000		400,000	564,470	△ 164,470	
機械警備費	100,000		100,000	79,944	20,056	
設備保全費	190,000	0	190,000	99,994	90,006	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	87,964	12,036	
消防設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
電気設備保守	30,000		30,000	12,030	17,970	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	240,000		240,000	74,511	165,489	
その他			0	118,978	△ 118,978	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	43,354,500	0	43,354,500	36,073,664	7,280,836	
差引	0	0	0	4,967,336	△ 4,967,336	

自主事業費 収入	0	0	0	129,000	△ 129,000	
自主事業費 支出	0	0	0	489,779	△ 489,779	
自主事業 収支	0	0	0	△ 360,779	360,779	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市踊場地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			地域密着型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	19,260	19,580	-320			0	21,310	19,840	1,470	100,190	91,740	8,450	44,750	40,180	4,570
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	220	0	220	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	利息配当金収入			0			0			0	40	0	40			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	180	0	180			0
	収入合計(A)	19,260	19,580	-320	0	0	0	21,310	19,840	1,470	100,410	91,740	8,670	44,750	40,180	4,570
支出	人件費	5,170	2,760	2,410			0	20,750	21,010	-260	79,500	78,740	760	35,560	33,610	1,950
	事務費			0			0	870	560	310	6,890	5,570	1,320	3,070	2,230	840
	事業費			0			0	0	0	0	6,970	7,890	-920	2,490	2,690	-200
	管理費			0			0	310	400	-90	10,860	9,340	1,520	4,650	3,950	700
	その他	14,590	15,780	-1,190	0	0	0	200	680	-480	660	400	260	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	14,590	15,780	-1,190			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	200	680	-480	660	400	260			0
	支出合計(B)	19,760	18,540	1,220	0	0	0	22,130	22,650	-520	104,880	101,940	2,940	45,770	42,480	3,290
	収支 (A)-(B)	-500	1,040	-1,540	0	0	0	-820	-2,810	1,990	-4,470	-10,200	5,730	-1,020	-2,300	1,280

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。